

忍者少女小雪
敗北孕ませの巻





世を跋扈する鬼
人々は鬼を恐れていた

鬼が襲って来たぞー
ギヤアツ!

ヒヤッハー
女だ!

嫌あ!
鬼だわっ!

「きゃー、助けてー」

ぐへへ!
お前は俺の苗床にしてやる。たっぷり産めよ」

嫌だ、あなたっ!
あなたっ!

てめえの夫は
もう死んだよっ!

お母さん助けてっ!

それを人知れず討つ正義の忍者が居た

「氷遁、氷冷華！」



何だ！
あの人間！
氷の忍術を
使つてきやがった！



消えろ！けだもの共が



ぎゃああああああああ



皆さん
もう大丈夫
ですよ

「パアアアアア」

彼女は「小雪」。
鬼達を狩る、義の忍者。

若干、13歳のその歳で
その氷の忍術で幾多の鬼を
退治し、火々を救ってきた
妖怪雪娘の血を引く
彼女の忍術には、氷の力を秘めている

お姉ちゃん、有難う

助けられなくてごめんね…

ううん…へ、平気だったから…

「ごめんね

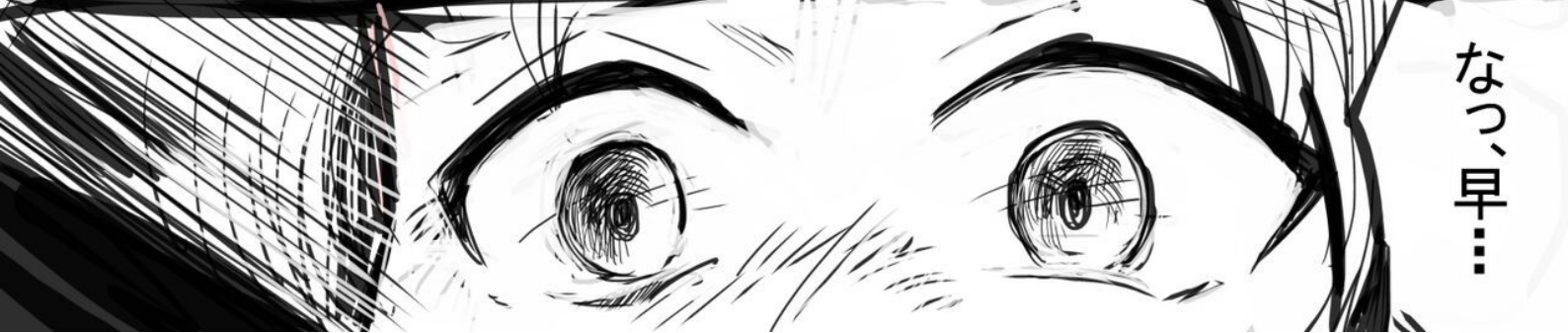
貴様か、鬼を「退治」
しまわっているという子娘は

何だ…この妖気…
今までの奴とは違う…

俺はこいつらの頭領だ
俺もお前を退治したいと
思っていた所だ
退治してやろう

ふん…上等、
お前みたいな鬼は
駆除しなきゃいけないわ

氷遁…月氷…



なっ、早…



干

気分はどうだ
子娘...

「は...

「なっ...くう、離せ」

離すものか
折角、良い苗床を手に入れたのに

な...なえど...!
そ、そんなのなる訳無い!
鬼の苗床なんて...

干

もう一刻も過ぎれば
悦んで苗床になる
運命を受け入れ居るだろう

な、何だこれはっ!

ひっ
ん
ん



チヤッ

女が素直になる、薬だ

お前みたいな生意気な子娘も
すぐに素直になる



なる訳ない!

あ



そんな事、ありえない...ありえ...



なっ、何をしているやめろっ

何の液体だっ!
何を塗っているっ

わ

ん

ん

B

塗るな…っ♡

ヌリ
ヌリ
ヌリ

どうだ、アソコが疼いて
たまらないだろう？
今気持ち良くしてやる

ああっ…♡
塗るな…っ♡

ヌリ
ヌリ
ヌリ

ヌリ



おれっ！

おれっ！

ふはははは！
声がよがって居るぞ、
流石、若い膣内は気持ちが良いわい！
それっ、孕ませるぞ

はらませ……？

嫌っ！
嫌ああああ！



やめろっ！
嫌っ！

あんっ！あんっ♡





ああ...♥産まれる...♥

また、産まれるう...♥

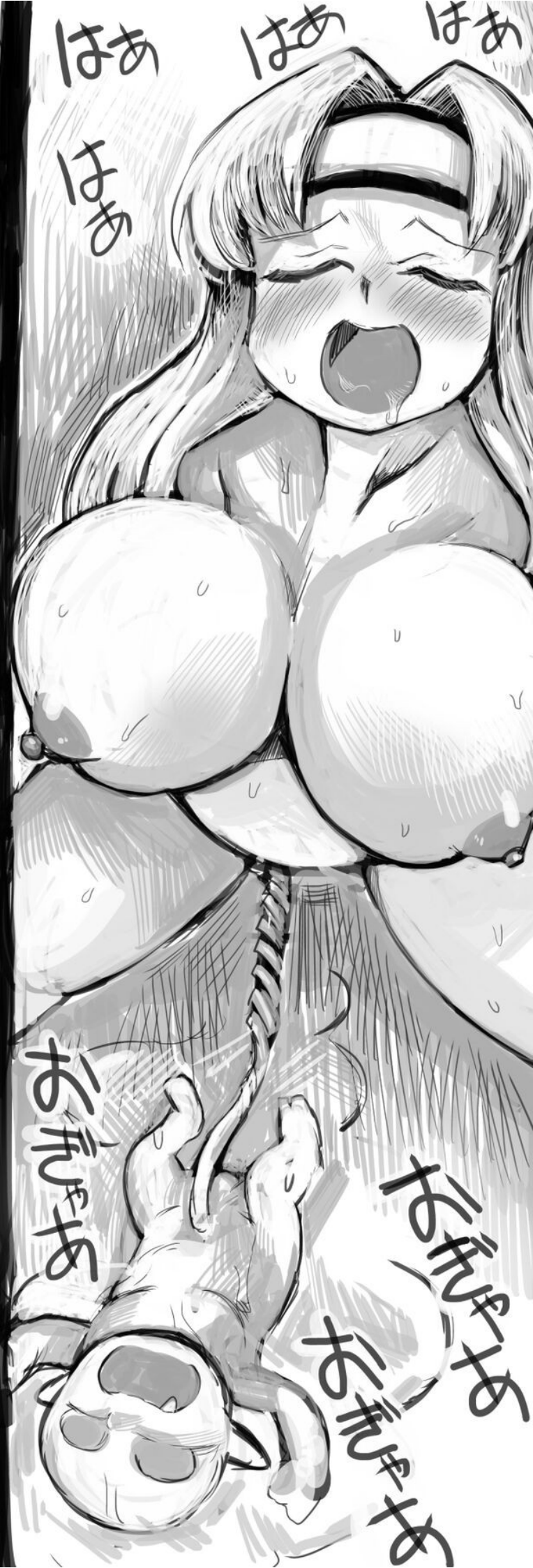


なでなで

はははっ

これで20人目の子供が生まれた
どうだ、嬉しいだろう？

はい
鬼様の子を産めて幸せです



はあ

はあ

はあ

はあ

おんげやあ

おんげやあ

おんげやあ



そこには、義の忍者としての子雪は居なかった

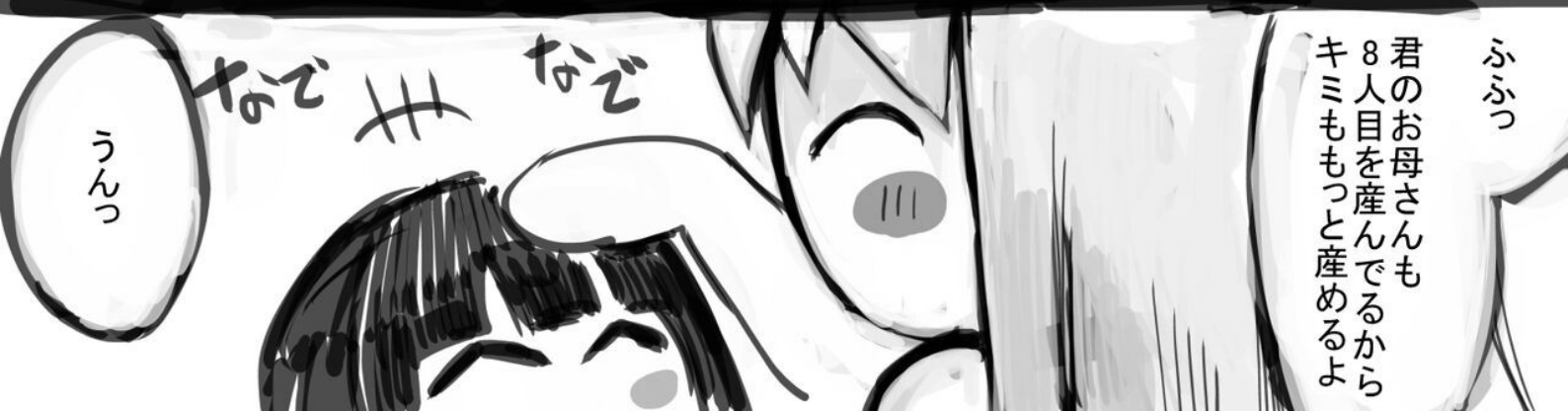
鬼の苗床となり、
ただ鬼と交わって子を産み、そして喜ぶ
三匹の苗床じか居なかった

おまけ

お姉ちゃん、すごい、



私まだ4人目しか赤ちゃん産めてないのに



ふふっ

君のお母さんも
8人目を産んでるから
キミももつと産めるよ

!!!

たぞ

たぞ

///

うんっ

